

花暦コラム



Vol. 4-1

松尾真由美

昨年の9月の始め、植林地内で『ツリガネニンジン』が群生しているのを見ることができました。

その前までは、2～3ヶ所に1～2株見つけられるかどうかだったのに・・・。

仲村さんが下草刈りをされる時、一緒に刈ってしまわないように 注意深くお仕事されたそうです。

『神業だ!!』

私は、群生しているツリガネニンジンの中で、腰を落としてそっと目を閉じました。

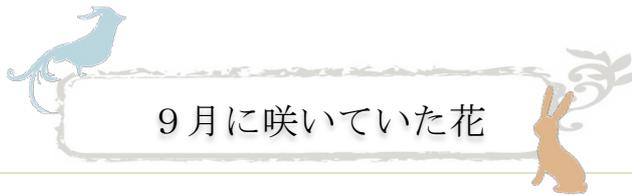
陽が落ちて、夕闇がせまり、空に星が1つ2つと瞬きだす頃。

ツリガネニンジンの花ひとつひとつに 灯がとまり、紫色の光が ポワンポワンと広がっていきます。虫達の演奏も静かに始まります。

そんな秋の夜会が開かれている光景が 浮かんできました。 秋の野で 愛らしい花を見つけたら、誰かに手紙を書いたり、詩などつくって ちょっと別世界へ飛んでみましょう。



ツリガネニンジン は多年草の植物。
春の若芽は『ととき』と呼ばれ
山菜として昔から食されています。



9月に咲いていた花

オトコエシ (オミナエシ科) オミナエシ (オミナエシ科) ツリガネニンジン (キキョウ科)
ナンブアザミ・ノコンギク・コウゾリナ・キヌガサギク (キク科) ゲンノショウコ (フウロソウ科)
ヤマハギ・マルバハギ・メドハギ (マメ科) ワレモコウ・キンミズヒキ (バラ科) ミズヒキ (タデ科)
アズマレイジンソウ・カラマツソウ・サラシナショウマ (キンポウゲ科) ミズタマソウ (アカバナ科)

アキカラマツ

サラシナショウマ

ミズタマソウ

アズマレイジンソウ

